

## 生ごみを原料とする肥料の使用意向調査について

### 1. 調査の目的

生ごみを原料とする肥料(生ごみ堆肥などの特殊肥料を含む)を町田市内の農地でどのくらい利用してもらえる可能性があるかを検討する目的で実施する。

### 2. 調査対象

市内の農家約 1,000 軒

### 3. 調査方法

発送及び返送とも郵送

### 4. 調査項目

#### ○営農の現況

作物別耕地面積 農業従業者数 後継者 事業の見通し

#### ○使用している肥料等の現状について

化学肥料・有機肥料別の年間使用総量

#### ○使用している肥料等の問題点について

入手方法、肥料の内容、課題等

有機肥料利用拡大の意向

#### ○生ごみを原料とする肥料について

認知、印象、利用意向

#### ○その他

### 5. スケジュール (案)

5月 アンケート発送

6月 アンケートの入力

7月 結果のとりまとめ

## 町田市「生ごみを原料とする肥料の使用意向調査」へのご協力のお願い

拝啓 皆様にはますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

日ごろから、町田市の清掃事業にご理解ご協力いただき厚くお礼申し上げます。

町田市では、2010年度の公表を目途に、今後10年間のごみの資源化をどう進めるか定める、「一般廃棄物資源化基本計画」の策定を検討しています。この計画は、市の廃棄物処理に関する総合的な計画となることから、2009年6月に市民、市内事業者、学識者などからなる「廃棄物減量等推進審議会」を設置し、計画の策定のための審議を進めています。

この審議会では、現在、ほとんどが焼却されている家庭から排出される生ごみについて、将来、資源化していくことを計画の基本的な考え方として定める方針です。町田市のような住民の多くが都市部に暮らす自治体で生ごみを資源化するためには、コンポスト容器や電動の生ごみ処理機などを使い、可能な限り生ごみを各家庭で処理する必要があります。しかし、家庭で排出された生ごみを原料とする肥料(生ごみ堆肥などの特殊肥料を含む)が、実際の農地で利用可能かどうかが大きな課題となっています。

こうした中、町田市環境資源部では、現状における農家の皆さんの意向や肥料の種類や利用量を把握するとともに、町田市内の農地でどのくらいの生ごみを原料とする肥料を利用してもらえる可能性があるかを検討するため、農家の皆様の貴重なご意見を伺うこととし、「生ごみを原料とする肥料の使用意向調査」を行うこととしました。

アンケート調査票は、町田市農家台帳から、市内1000軒の農家の方を、無作為に選ばせていただき、お送りしています。

ご多忙中、大変恐縮ですが、今後町田市が資源循環型の都市として発展していくためにも、何卒、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

敬具

平成 22 年 5 月

### ■■ 御記入いただく上でのお願い ■■

- ◎ この調査票の回答は、原則として、送付させていただいた宛名のご本人様をお願い致します。ただし、ご家族の方と一緒に住まいの場合は、ご家族と相談して回答いただくこともできます。
- ◎ この調査は、「こういう意見の方が何%」ということを知るための無記名式調査です。お名前やご住所といった個人情報をお答えいただく必要は、一切ありません。

### ■■ アンケート票の返送について ■■

- ◎ 御記入いただきましたら、お手数ですが同封の返信用封筒(切手は不要)に入れて、〇〇月〇日(〇)までに、投函してください。
- ◎ 調査票、封筒ともお名前・ご住所を書かずにお出しください。

#### ■問い合わせ先

町田市 環境資源部 環境総務課(担当:小田島、諏訪部)  
〒194-0202東京都町田市下小山田町3160番地 町田リサイクル文化センター内  
TEL:042-797-7112(平日8:30~17:00) FAX:042-797-5374  
電子メール:kshigen010@city.machida.tokyo.jp

## 生ごみを原料とする肥料の使用意向調査票（案）

町田市廃棄物減量等推進審議会では、ごみになるものをつくらない、燃やさない、埋め立てない、を基本理念にごみの資源化を推進する検討を行っています。その一環として、生ごみを肥料化する計画を進めていますが、そのような生ごみを原料とする肥料(生ごみ堆肥などの特殊肥料を含む)に対する農家の皆さんの意向や現状における肥料の種類や利用量などを調査することになりました。お手数ですが、下記のアンケートにお答え下さい。

問1 あなたの営農形態についてお尋ねします。

(1) あなたの営農形態についてお尋ねします。該当するものすべてを選び、栽培面積や家畜の飼育頭羽数をしている数を記入してください。

- 1 稲作 ( a)
- 2 野菜栽培 露地栽培 ( a)  
施設栽培 ( a)
- 3 果樹栽培 ( a)
- 4 花き栽培 露地栽培 ( a)  
施設栽培 ( a)
- 6 畜産 (養豚 頭)  
(酪農 頭)  
(肥育牛 頭)  
(採卵鶏 羽)  
(ブロイラー養鶏 羽)

(2) 現在、従事している人は何人ですか。( 人)

(3) 後継者はいますか

- 1 いる
- 2 いない
- 3 未定

(4) 今後5～10年の事業の見通しはどうか

- 1 現状維持
- 2 規模拡大の予定
- 3 規模縮小の予定

問2 使用している肥料等についてお尋ねします。現在使用しているものに○つけ、年間使用量、及び価格等をご記入ください。

(1) 肥料

(1)-1 単肥

使用している ものに○ ↓		年間使用量 (k g)	価格：20 k g 1 袋価格、又は単価 が分かるように
	窒素質肥料単肥		
	りん酸質肥料単肥		
	加里質肥料単肥		

(1)-2 複合肥料

	配合肥料（有機配合肥料等）		
	化成肥料		
	その他（ ）		

(1)-3 有機質肥料

	動物質肥料（魚かす、骨粉等）		
	植物質肥料（油かす等）		
	その他（ ）		

(2) たい肥

	剪定枝たい肥		
	バークたい肥		
	豚糞たい肥		
	牛糞たい肥		
	その他（ ）		

(3) 土壌改良資材

	石灰資材		
	りん酸資材		
	その他（ ）		

(4) (1)~(3)以外

	名称（ ）		
--	-------	--	--

問3 使用している肥料等について、問題点があればお選びください。

種類	問題点 (下記選択肢から)	その他の問題点(選択肢5を選んだ場合は具体的に記入してください。)
(1)-1 単肥		
(1)-2 複合肥料		
(1)-3 有機肥料		
(2) たい肥		
(3) 土壌改良資材		

↑  
選択肢

- |   |
|---|
| 1 使い勝手が悪い<br>2 成分にばらつきがある<br>3 量が確保できない<br>4 価格が高い<br>5 その他 |
|---|

問4 生ごみを原料とする肥料(生ごみ堆肥などの特殊肥料を含む)についてお尋ねいたします。それらの肥料を使ってみたいと思いますか。次からお選び下さい。

- 1 ひじょうに関心がある。ぜひ使ってみたい。
- 2 やや関心がある。肥料の成分や品質などを知りたい。その上で、使ってみたい。
- 3 特に関心はない。使ってみたいとは思わない。
- 4 使いたくない。
- 5 絶対に使わない。

問5 問4で4あるいは5を選択した方にお尋ねします。使いたくない理由をお答え下さい。(複数の回答でも結構です。)

- 1 塩分や油分が含まれているから。
- 2 有害成分が含まれている可能性があるから。
- 3 においがきついと思われるから
- 4 肥料の成分が安定しないように思うから
- 5 誰が出した生ごみであるかがわからないから。

[参考]

東京農業大学では生ごみから「みどりくん」と呼ばれる肥料を開発しました。

「みどりくん」とは、生ごみを乾燥して油分を絞り、直径3ミリ、長さ5ミリのペレット状に加工したもので、大豆油粕と同じような性質の肥料です。これまでに各地の農家での栽培試験でも良好な成果を上げ、近く肥料取締法に基づく肥料登録も受ける予定です。この方法で製造した肥料は、これまでのたい肥化のように長時間堆積する必要がありません。

問5 生ごみを原料とする肥料の利用についてご意見があればご記入ください。

ご協力ありがとうございました。